様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月6日

千葉市長 殿

提出者

住 所 東京都港区虎ノ門2-2-1住友不動産虎ノ門ﾀﾜｰ

氏 名 大成ユーレック株式会社 ＰＣ事業部

代表取締役社長 青木 卓

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 03-6230-1707

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大成ユーレック株式会社 千葉工場
事業場の所在地	千葉県千葉市稲毛区六方町60番
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	製造業
②事業の規模	元請売上高 334億円
③従業員数	479名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添１ 処理工程図のとおり

（日本産業規格 Ａ列4番）

<table>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項</td></tr>
<tr><td colspan="4">（管理体制図）
別添２　管理体制図のとおり</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td>－</td></tr>
<tr><td>排　出　量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
・環境管理実施計画（産業廃棄物の適正管理）の目標を設定し実施している</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td>－</td></tr>
<tr><td>排　出　量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
・現状の取組を継続していく
・産業廃棄物処理の委託先の選定・契約に関与する組織の間で、産業廃棄物処理について必要な情報を共有する
・廃棄物に関する従業員研修を年１回実施する</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の分別に関する事項</td></tr>
<tr><td>①現状</td><td colspan="3">（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・金属くず・紙くず・段ボール・木くず・廃石膏ボード・廃プラスチック類・コンクリートがら等を可能な限り分別し、収集運搬業者、中間処理業者に処理委託している。</td></tr>
<tr><td>②計画</td><td colspan="3">（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・各現場での排出量の削減に取組み分別を徹底していく。</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	― t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	― t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	― t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	― t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	―	―
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	― t	― t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	― t	― t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	—	—
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	—	—
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
全処理委託量	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t
再生利用業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

<table>
<tr><td rowspan="10"></td><td rowspan="10">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>別紙集計表のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td>優良認定処理業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2　当該年度の6月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

別添１ 処理工程図

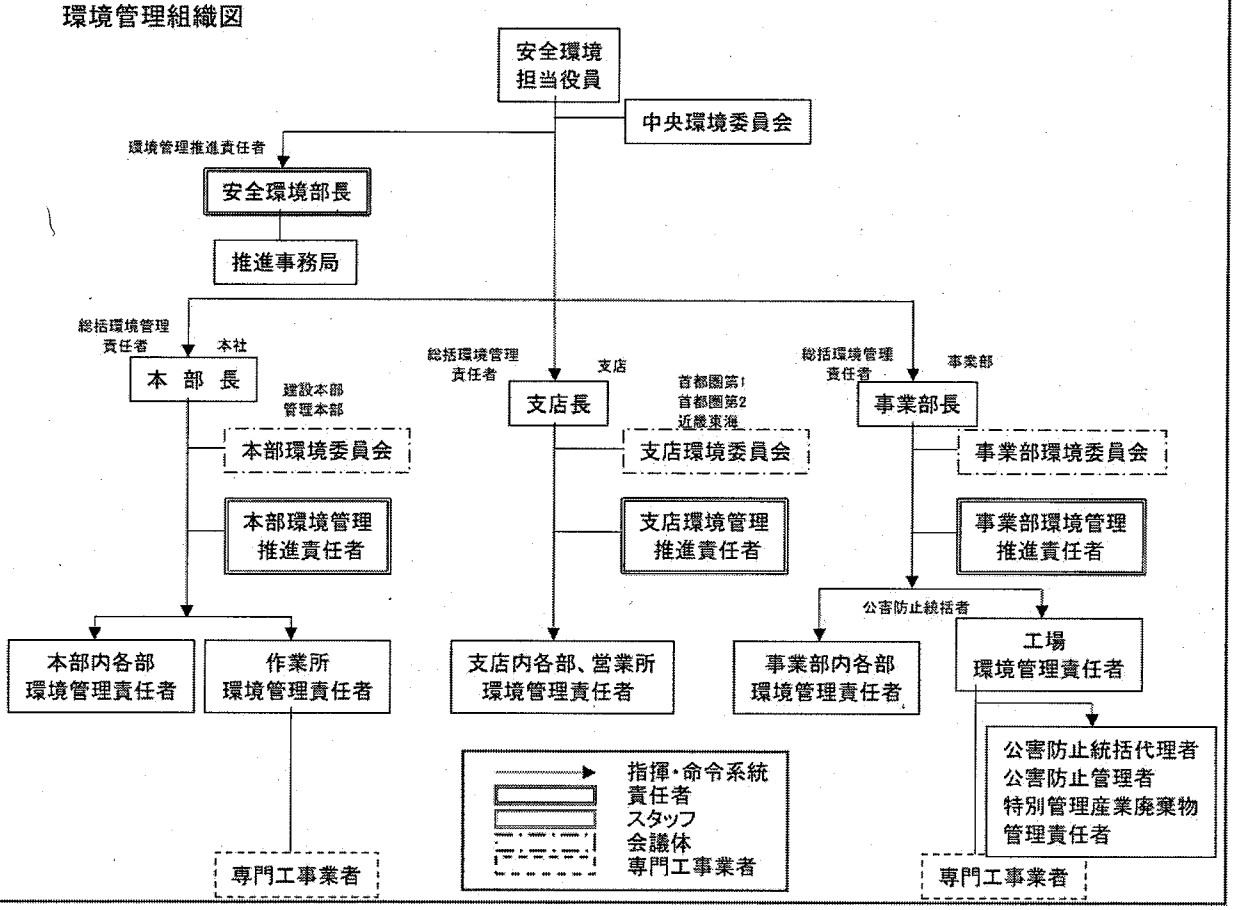
		中間処理		最終処分・再生利用
建設汚泥	→	脱水・固化	→	再資源化 最終処分（埋立）
がれき類	→	破砕	→	再資源化
ガラス陶磁器	→	破砕	→	再資源化 最終処分（埋立）
廃プラスチック	→	破砕・圧縮	→	再資源化 最終処分（埋立）
木くず	→	破砕・圧縮	→	再資源化
金属くず	→	破砕・圧縮	→	再資源化
繊維くず	→	破砕・圧縮	→	再資源化
紙くず	→	破砕・圧縮	→	再資源化
混合廃棄物	→	破砕・焼却・圧縮	→	再資源化 最終処分（埋立）
石綿含有建材	→	最終処分（埋立）		

別添２ 管理体制図

環境管理組織図（産業廃棄物含む）

統括責任者	所属 ： 安全環境担当　　職名 ： 安全環境担当役員	
廃棄物担当	組織名 ： 統括環境管理責任者　職名 ： 本部長 支店長 事業部長	
役割	環境管理委員会 （環境管理 推進責任者）	○廃棄物処理に関する検討 廃棄物の発生制御、再生処理、中間処理、適正処理の推進、計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討する ・委員長 ： 本部環境管理推進責任者　職名 ： 部長 ・委員 ： 支店環境管理推進責任者　職名 ： 課長 ・委員 ： 事業部環境管理推進責任者　職名 ： 課長
	廃棄物処理 統括責任者 （環境管理責任者）	○廃棄物処理方針の策定 ○廃棄物管理規定の策定・改発 ○廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認
	廃棄物処理 担当課長 （作業所・工場環境 管理責任者）	○廃棄物処理方針計画の作成 ○廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ○産業廃棄物処理施設の運転・維持管理状況の把握 ○処理業者、再生利用者の調査、選定及び管理 ○委託契約の締結　令和5年4月1日～令和6年3月31日 ○産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物管理票の交付・管理 ○監督官庁への各種報告 ○社員、関連会社に対する教育・啓発 ○その他関係する事項

環境管理組織図



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】																			
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）													
	排出量	216.65 t	76.77 t	5.68 t	985.02 t	88.80 t	11.96 t													
②計画	【目標】																			
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）													
	排出量	212.32 t	76.23 t	4.90 t	966.34 t	87.02 t	11.72 t													

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】																			
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）													
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t													
②計画	【目標】																			
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）													
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t													

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】																			
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）													
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t													
	自らの焼却施設による減量化した産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t													
②計画	【目標】																			
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）													
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t													
	自らの焼却施設による減量化する産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t													

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①概況

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）												
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t												

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）												
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t												

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）												
全処理委託量	236.65 t	76.77 t	5.99 t	986.03 t	88.80 t	11.96 t												
収集運搬業者への処理委託量	236.65 t	76.77 t	5.99 t	986.03 t	88.80 t	11.96 t												
再生利用業者への処理委託量	236.65 t	76.77 t	5.99 t	986.03 t	88.80 t	11.96 t												
最終処分業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t												
積替保管を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t												

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）												
全処理委託量	212.32 t	75.23 t	4.99 t	966.31 t	87.02 t	11.72 t												
収集運搬業者への処理委託量	212.32 t	75.23 t	4.99 t	966.31 t	87.02 t	11.72 t												
再生利用業者への処理委託量	212.32 t	75.23 t	4.99 t	966.31 t	87.02 t	11.72 t												
最終処分業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t												
積替保管を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t												

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月6日

千葉市長 殿

提出者

住 所 東京都港区虎ノ門2-2-1住友不動産虎ノ門ﾀﾜｰ

氏 名 大成ユーレック株式会社 ＰＣ事業部

代表取締役社長 青木 卓

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 03-6230-1707

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	大成ユーレック株式会社 千葉工場
事業場の所在地	千葉県千葉市稲毛区六方町60番
事業の種類	製造業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1,292.11 t	全処理委託量	1,292.11 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	優良認定処理業者への処理委託量	1,292.11 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	再生利用業者への処理委託量	1,292.11 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t
自ら埋立処分又は海洋投棄処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t
※事務処理欄			

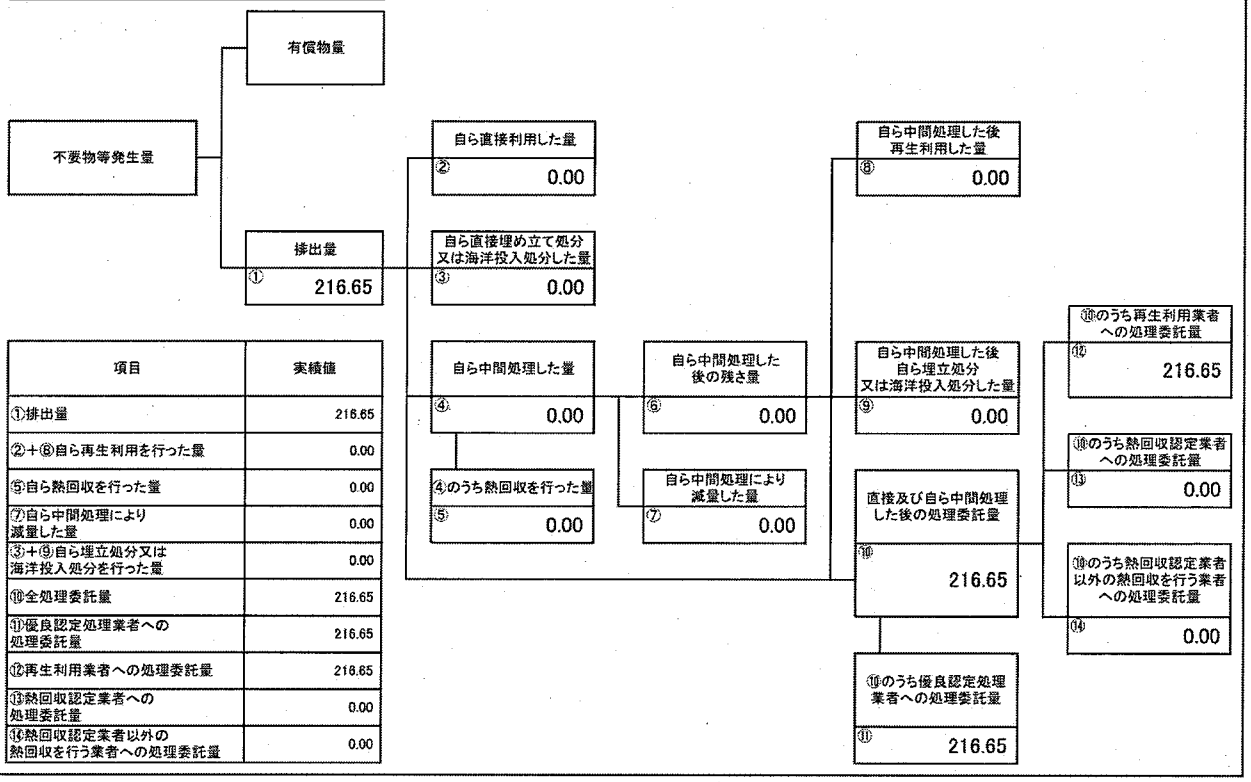
（日本産業規格 A列4番）

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 廃プラスチック類　　）

（単位：トン）

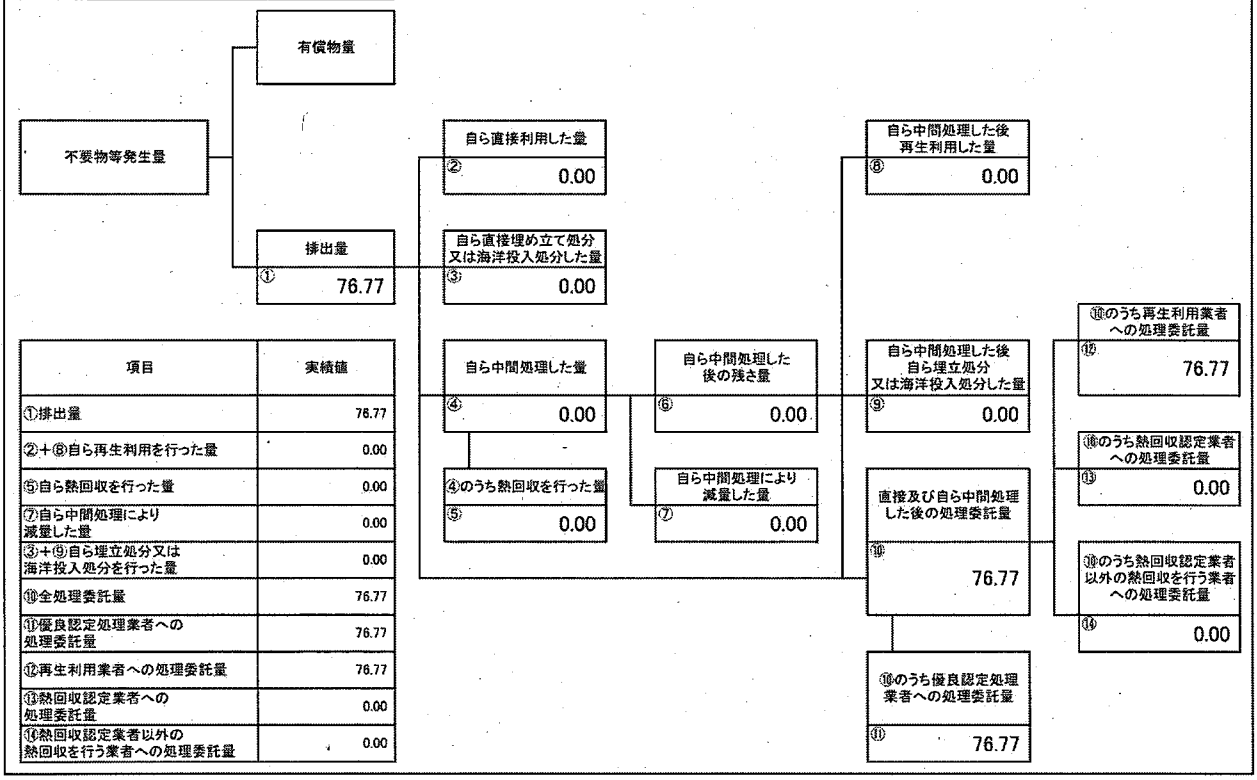


項目	実績値
①排出量	216.65
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	216.65
⑪優良認定処理業者への処理委託量	216.65
⑫再生利用業者への処理委託量	216.65
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 木くず ）

（単位：トン）



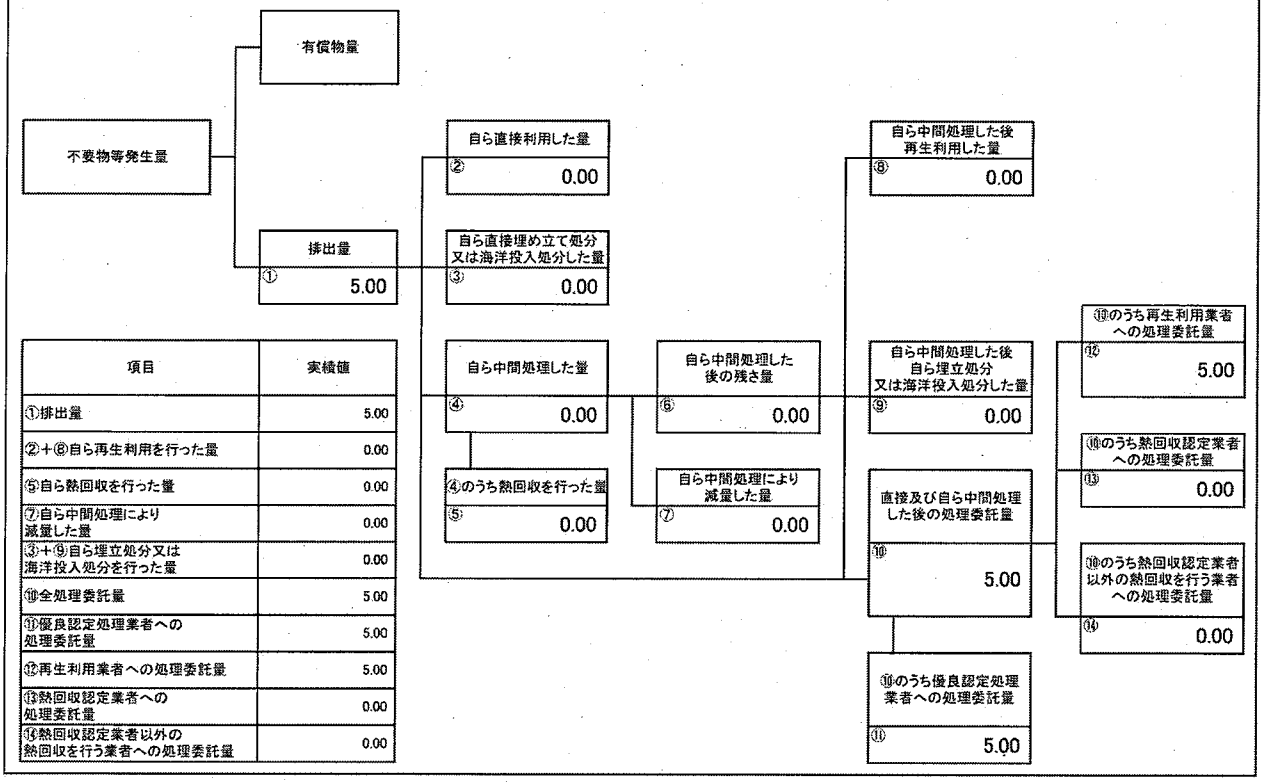
項目	実績値
①排出量	76.77
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	76.77
⑪優良認定処理業者への処理委託量	76.77
⑫再生利用業者への処理委託量	76.77
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 ガラス陶磁器等くず　）

（単位：トン）



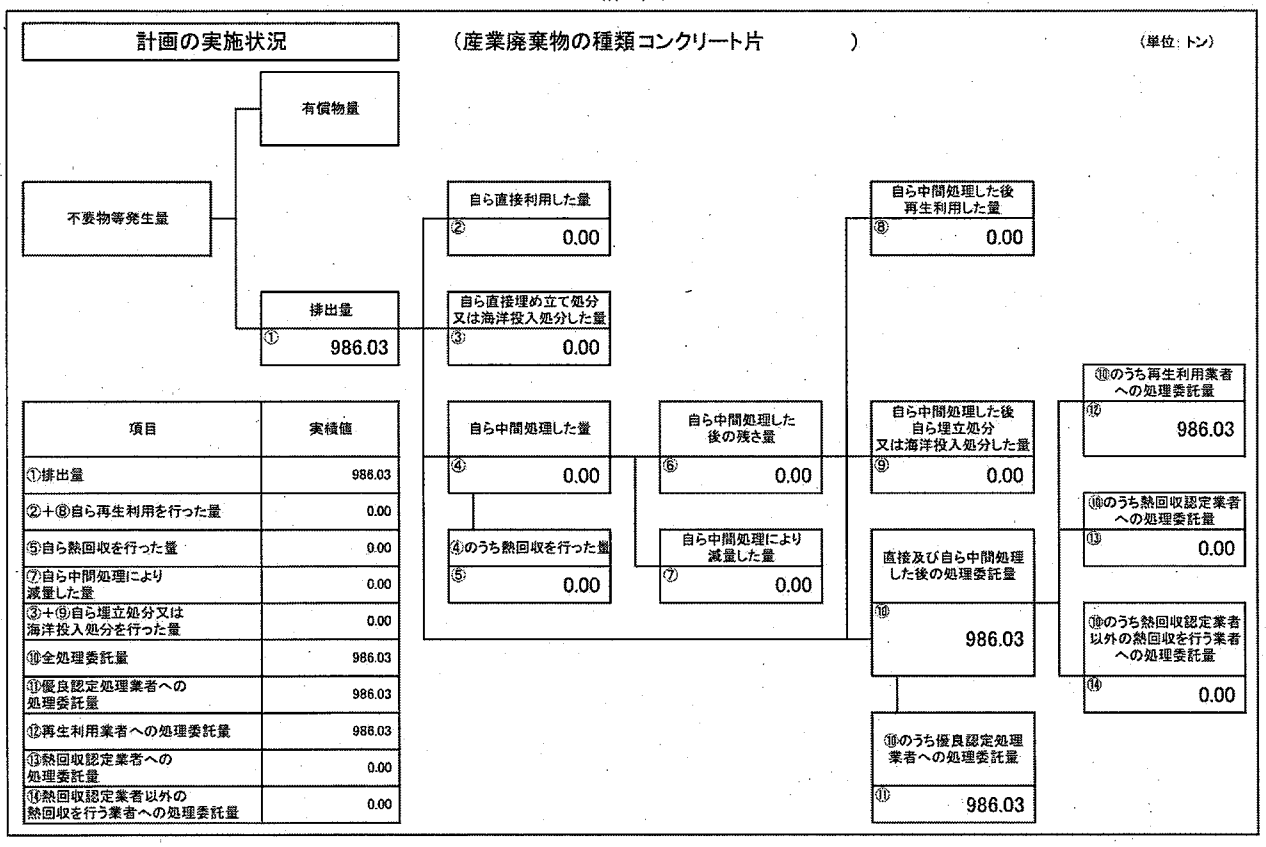
項目	実績値
①排出量	5.00
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	5.00
⑪優良認定処理業者への処理委託量	5.00
⑫再生利用業者への処理委託量	5.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類コンクリート片　　）

（単位：トン）



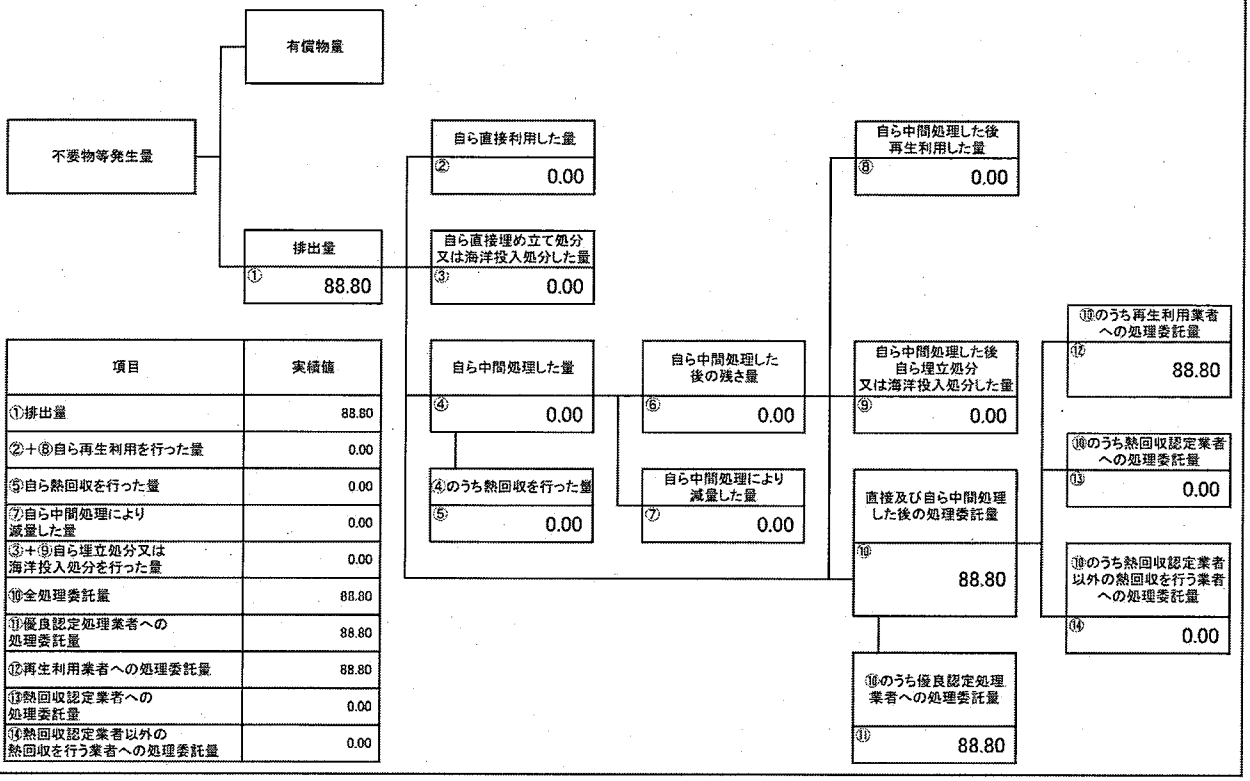
項目	実績値
①排出量	986.03
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	986.03
⑪優良認定処理業者への処理委託量	986.03
⑫再生利用業者への処理委託量	986.03
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 その他がれき類 ）

（単位：トン）

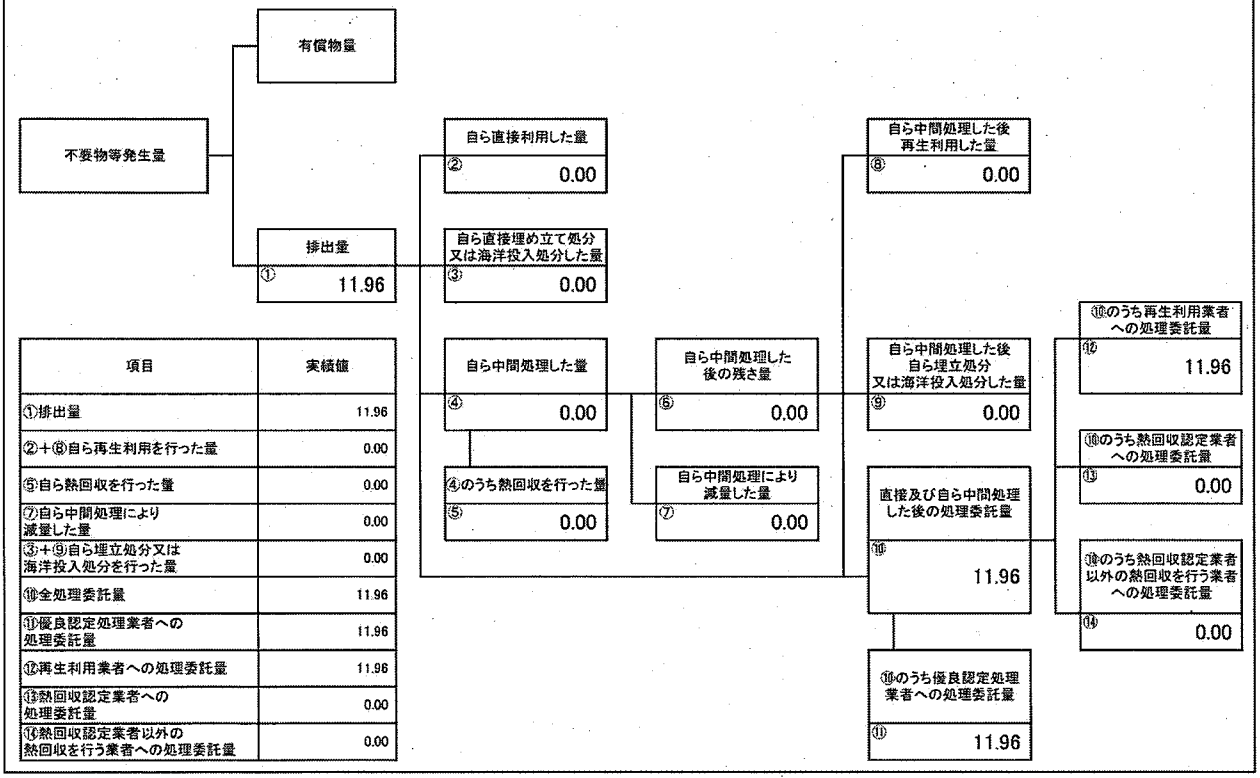


項目	実績値
①排出量	88.80
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	88.80
⑪優良認定処理業者への処理委託量	88.80
⑫再生利用業者への処理委託量	88.80
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 建設混合廃棄物（管理型））　　（単位：トン）



項目	実績値
①排出量	11.96
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	11.96
⑪優良認定処理業者への処理委託量	11.96
⑫再生利用業者への処理委託量	11.96
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

備考

1　翌年度の６月３０日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第２面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量

(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第２面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が２以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。